様式第１号

令和　年　　月　　日

全国木材協同組合連合会

会長　　　　　　　殿

当申請は適正なものと認められたので進達します。

地域木材団体名

代表者名

（借受者）

住所又は所在地

名称

代表者名

（リース会社）

住所又は所在地

名称

代表者名

木材加工設備等リース導入支援リース料助成申請書

　木材加工設備等リース導入支援による助成を受けたいので、木材加工設備等リース導入支援助成金交付規程第２の１に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

１　予定しているリース契約の内容について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| リース会社名 | 住所 | | |
| 会社名 | | |
| リース物件の形式等 | 対象設備名 | 数量 |  |
| 形式等 |
| リース物件の設置場所 |  | | |
| リース物件予定価格（消費税を除く） | 円 | リース期間 | 年（　カ月） |
| リース料金（予定）  (１ケ月当たり金額)  　　（消費税を除く） | 円／月 | | |

２　組織と事業の状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業種名 |  | | | | |
| 資本金 | 百万円 | | | | |
| 従業員数 | 人 | | | | |
| 最近１ヶ年の事業内容 | 事業内容 | | | 販売額（千円） | |
|  | | |  | |
| 合計 | | |  | |
| 最近１ヶ年の  木材・木材製品  の販売状況 | 品目 | 販売数量（㎥） | | 販売額（千円） | |
| 地域材 | その他材 | 地域材 | その他材 |
|  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

３　機械設備導入の目的

|  |
| --- |
|  |

４　現有の主要設備の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 台数 | 能力 | 人員 |
|  |  |  |  |

５　木材・木材製品の合法性又は持続可能性を証明する方法

(1)森林・林業・木材産業関係団体の認定を受け証明する方法

認定団体の名称：

認定番号：

（認定書写しを添付してください。）

(2)その他の方法により証明する方法

具体的に記載

（森林認証やＣｏＣ認証、独自の証明方法等が確認できる書類を添付してください。）

６　添付書類

(1)木材加工設備等導入支援リース計画書・乾燥材生産計画書

(2)｢要領｣第２の(5)のエに基づく都道府県知事意見書

(3)我が国の法令に適合して伐採された樹木を材料としていることを証明する方法が

確立されていること等が分かる資料

(4)農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（個別規範：木材産業）事業者向

けチェックシート

(5)要領第５の（５）に基づく別記様式第６号の環境負荷低減のチェックシート

(6)参考資料

① リース物件見積書　② 設備位置図（工場内見取図）　③ 直近の決算書

④ 設備仕様書（カタログ等）　⑤ その他参考資料

様式第１号　別添

木材加工設備等リース導入支援計画書・乾燥材生産計画書

作成年月日　令和　 年　 月　 日

作成者名

助成対象設備名

１　取扱量

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 助成対象設備における年間取扱量（㎥） | | | | 工場全体の年間取扱量（㎥） | | | 備 考 |
| 地域材 | その他材 | 合計 | 地域材比率(%) | 地域材 | その他材 | 合計 |
| 最近１ヶ年 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |

注１ 年間取扱量欄には、年間取扱量をリース料助成最終年度まで記入する。

注２ １年目とは、助成設備を導入した年度（4月～翌3月）とする。

　　 リース料助成対象設備が、木屑焚ボイラー、焼却炉の場合は「工場全体の年間取

扱量欄」に記入する。

２　地域材製品生産拡大のための具体的取組方針（原料調達・製品開発・販売先の開

拓の現状と取組）

３　乾燥材の生産量

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 工場全体における木材の年間取扱量（㎥） | | うち乾燥材取扱量（㎥） | | | 構造材の生産量等（㎥） | | |
| 地域材 | その他材 | 合計 | 全生産量 | うち乾燥材量 | |
| 最近１ヶ年 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |

注１ ここでいう乾燥材とは、木材製品の含水率が20％以下のものをいう。

注２ １年目とは、助成設備を導入した年度（４月～翌年３月）とする。

４　その他の品質の安全・向上に関する計画

(1)機械設備の処理能力

導入前　　　　㎥ / 1日 （8時間）

導入後　　　　㎥ / 1日 （8時間）　(　　　％アップ）

（注）㎥で表すことができない場合は率（％）であらわすこと。

(2)その他の品質向上安定に関する取組（乾燥材歩留まり、プレカット対象部材拡大、

JAS認定取得の状況など）